

「鉄道総研技術フォーラム 2015（大阪開催）」を開催しました

平成 27 年 9 月 11 日
公益財団法人鉄道総合技術研究所

公益財団法人鉄道総合技術研究所（以下、鉄道総研）は、「鉄道総研技術フォーラム 2015（大阪開催）」を下記により開催いたしましたのでお知らせします。

鉄道総研は、去る平成 27 年 9 月 9 日に研究開発成果の紹介を目的とした「鉄道総研技術フォーラム 2015（大阪開催）」を、「鉄道システムの機能を高めるエネルギー技術」をメインテーマとして開催いたしました。メインテーマに関する成果展示 9 件をはじめとした成果展示合計 38 件、メインテーマに関する 5 件の講演、専門分野のプレゼンテーション 4 件を行い、鉄道技術関係者を中心に合計 404 名の方にご来場いただきました。

記

1. 開催日時

平成 27 年 9 月 9 日（水） 9 時 30 分から 17 時 00 分まで開催

2. 場 所

成果展示：毎日新聞ビルオーバルホールおよび毎日インテシオ 4 階（大阪市北区梅田 3-4-5）
講演会：毎日新聞ビルオーバルホール（大阪市北区梅田 3-4-5）

3. 成果展示

メインテーマ「鉄道システムの機能を高めるエネルギー技術」に関して、メインテーマ展示 9 件および 7 つの技術分野展示等 29 件、合計 38 件の成果展示を行いました。

メインテーマ：エネルギーの高効率な利用、鉄道用超電導ケーブル、車両用非接触給電システム、超電導磁気軸受を用いたフライホイール蓄電装置、鉄道への水素エネルギー利用、バッテリーハイブリッド交流電車によるエネルギー有効利用、車両走行エネルギーシミュレータ、消費電力シミュレータの高精度化、バッテリー電車の充電にともなうトロリ線温度上昇に関する評価の 9 件の成果展示を行いました。

車両分野：空気抵抗低減効果を簡易に検証する方法、輪重減少抑制台車など 3 件の展示を行いました。

構造物・防災・地震分野：高架構造物の状態監視システム、鉄道地震災害シミュレータの構築など 5 件の展示を行いました。

軌道分野：レール波状摩耗の効率的な管理手法、高頻度軌道検測データに対応した軌道保守計画支援システムの 2 件の展示を行いました。

電力・信号・情報分野：避雷器劣化判定装置、特殊信号発光機の視認性確認システムなど 4 件の展示を行いました。

環境・人間科学分野：運転室内の報知・警報音の決定法、異常時コミュニケーション訓練手法の 2 件の展示を行いました。

超電導分野ゾーン：RE 系線材を用いた高温超電導磁石、超電導材料の製作・評価の 2 件の展示を行いました。

国際規格・情報発信分野：鉄道分野の国際規格開発への取り組み、鉄道に関する意識調査の 2 件の展示を行いました。

また、協力会社・共同開発会社・協会などの 9 件の展示がありました。

4. 講演会

【メインテーマ講演】

開催のご挨拶

専務理事 高井 秀之

(1) 鉄道総研におけるエネルギー技術への取り組み

電力技術研究部 部長 兎束 哲夫

(2) 車両におけるエネルギー効率の向上

車両制御技術研究部 部長 山本 貴光

(3) 電力供給設備におけるエネルギー効率の向上

電力技術研究部 き電研究室長 重枝 秀紀

(4) 超電導き電ケーブルによるエネルギーの有効活用

研究開発推進部 担当部長 富田 優

(5) エネルギー効率の評価シミュレータ

信号・情報技術研究部 運転システム研究室長 平井 力

講演会の閉会ご挨拶

鉄道総研技術フォーラム実行委員会 委員長 舘山 勝

【専門分野のプレゼンテーション】

(1) 沿線環境に関する研究開発の動向

(2) 構造物の維持管理

(3) 軌道の維持管理

(4) 安全の人間科学



写真 「鉄道総研技術フォーラム 2015（大阪開催）」講演会の様子



写真 「鉄道総研技術フォーラム 2015（大阪開催）」成果展示の様子